

「自治体国際交流活動支援レセプション」における

伊藤外務副大臣御挨拶

平成21年6月3日

全国の市・区長の皆様、在京各国大使、御来賓の皆様、本日は、御多忙の中、本レセプションに御出席いただき誠にありがとうございます。

国際交流における自治体の役割は、益々重要になっています。姉妹・友好交流に加え、地元産品の海外への紹介、地元企業の海外への展開や海外からの観光誘致等の経済面での交流、地方の伝統文化や食文化を通じた交流など、皆様の活動は、広範な分野で、重要な外交上の貢献をされておられます。

外務省としても、各自治体の国際的取組に役立つ情報の共有を更に進めるべく、本年1月からメールマガジン「グローバル通信」の配信を開始し、更に本年4月にホームページ「グローバル外交ネット」を立ち上げるなどの努力をしております。この「グローバル」という言葉はまだあまり耳馴れないかも知れませんが、「地球規模の」という意味の「グローバル」と「地域の」という意味の「ローカル」を一つにした造語です。“Think Globally, Act Locally”即ち「地球規模で考え、地域で行動しよう。」というスローガンがありますが、これは、正に皆様が目指しておられることに通じる言葉ではないでしょうか。

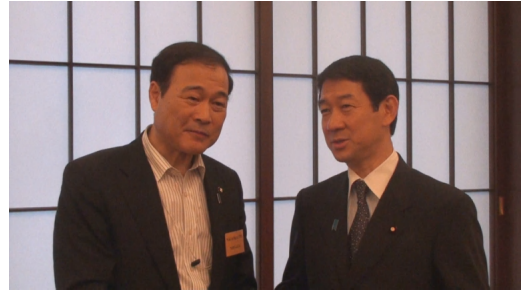
外務省としては、皆様がこうしたグローバルな交流を進めていく上で、ご意見、ご要望等あれば是非しっかりと対応していきたいと考えています。どうかご遠慮なくおっしゃって頂ければ幸いです。なお、末吉興一(すえよし こういち)外務省参与におかれましては、平成19年6月より2年にわたり、当省の地方連携担当参与として、様々な助言を賜っておりますことをこの場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。

それでは、本日の会合が、皆様にとって有益な意見交換の機会となりますことを希望し、御挨拶といたします。

(了)



我が国の自治体による国際交流活動を支援すべく、全国の市長や東京駐在の外交団等の皆様をお招きして、レセプションを主催しました。



森・全国市長会代表(長岡市長)とともに。